2016.10.24 No.2217 No.12

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club





会長挨拶

三条南ロータリークラブ 会長

丸山 征夫

こんにちは。

先週は、市内 4 クラブの合同例会で市岡裕子さんの講演とジャズなどで楽しませていただきました。皆さんは如何でしたか?

今日 10月 24日は私の誕生日です。昭和 18年に三条市内の四之町で生まれました。

父は大正8年3月生まれで、兄の亡き後、自分の兄嫁と結婚しました。所謂 おじ直りとこちらの方言かも知れませんがそう言います。兄夫婦には男の子が 一人いて、彼が今 本寺小路で宝石屋をやっています。

兄が亡くなってから、弟つまり私の父が兄嫁と結婚し、私と妹を産んで私が 10 歳の頃亡くなりました。

それから間もなくして、足袋屋の隣家が火事になり、私の家も類焼してしまい、それに加えて母の病。父の商いも細くなり家を売ってしまいました。

その頃の反対隣りの五十嵐昭一さんへはよく遊びに行ったものでした。遊ぶ相手は昭一さんの妹さんと弟さんでした。

それから三之町の斎藤権八さんの家もよく行きました。子供に私の同級生、正 ちゃんがいました。彼は若いうちに亡くなってしまいました。

家を引っ越してから何十年。まさか五十嵐さんとロータリークラブで会うと は思いもしませんでした。

生まれた所が五十嵐川の下流の方で、段々と川上に上ってきて、今は大崎地区の松ノ木町にいます。川上でなく川下に行っていたら、三条でなく燕か加茂市の住民になっていたところでした。

小学校は三条第一小学校、次に第一中学校、次に三条実業高校でした。頭もさることながら、経済的にも大学には行けず、丸福証券、今の岡三にいがた証券に入りました。しかしお客さんを見ると毎日売り買いし、損をする人が多くて博打をしている様でした。そこを辞めて名古屋の貿易会社に入ったのが今の仕事のきっかけです。長い、長い72年間でした。

自分のことを少しお話しました。

自分に奉仕、周りに奉仕。

出席率

会員51名中33名

先々週の出席率 90.91% (10/3)

ゲスト

ヴィミグター

三条市の英雄・世界のジャイアント馬場を名誉市民にする会 副会長 原田洋一様

A A

三条東RCより 小林昭雄君 遠藤和秀君

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから一

| 真実かどうか

|| みんなに公平か

Ⅲ好意と友情を深めるか

₩みんなのためになるか どうか

ROTARY SERVING HUMANITY 人類に奉仕するロータリー -2016-17年度国際ロータリーのテーマー

国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム[アメリカ] 第2560地区ガバナー 中 政 春「長岡西」 田 第4分区ガバナー補佐 森 理[加 茂] Ш 会 長 丸 征 夫 Щ 幹 夫 事 谷 晴

木

事務局〒955-8666三条市旭町2-5-10

三条信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095 E-mail info@sanjo-minami.jp URL http://www.sanjo-minami.jp 先週のメークアップ 10/18 三条北RCへ

草野恒輔君 松﨑孝史君 佐藤秀夫君 渡邉久晃君 荒澤威彦君

10/19 三条RCへ

草野恒輔君 桑原朋子さん 西潟精一君 佐々木常行君 渡邊光郎君

10/20 三条東RCへ 石山昌宏君 長谷美津明君 草野恒輔君 永井篤利君

> 坂本洋司君 渡辺俊明君 吉沢栄一君

10/21 吉田RCへ 佐尺木常行君

10/22~23 ライラ研修セミナー(新潟)へ 吉沢栄一君 丸山 智君



三条東ロータリークラブ

命の大切さ・第七弾 講演会 「 障がいや病気を乗り越えて 」 ~ 人との関わりの中で ~

講師

片腕のゴルファー 小山田 雅人 氏

とき

2016年11月26日(土)

受付:午後6:00 開演:午後6:30

会場 三条市中央公民館 大ホール



講師プロフィール

不慮の事故で右手首より下を失いながらも、様々なスポーツに挑戦し、現在日本プロゴルフ協会ティーチングプロ 及びNPO障害者ゴルフ協会理事を務めながら、ゴルフをパラリンピックに認定してもらうための活動とプロゴル ファーとして障がい者ゴルファーの目標となるために日々練習を行っている。

以前、「4RC合同例会」にてご講演いただきましたが、今回は、広く市民の皆様にご聴講いただければと、東RC 創立以来行っております「命を守る」のテーマの下、本講演会を開催させていただきます。 どうぞ、多くの皆様にお声かけいただきたくご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



田中ガバナー事務所より「第2560地区ガバナーノミニー決定」のお知らせ

国際ロータリー第2560地区ガバナーノミニー(2018~19年度ガバナー) 三条ロータリークラブ 川瀬 康裕(かわせ やすひろ)氏



~10月24日 13.000円

三条東RC

小 林 君 遠藤君 社会奉仕事業のPRに参りました。 よろしくお願いいたします。

丸山(征)君

G.馬場を名誉市民にする会副会長 原田洋一様、長~い名前です。と、 三条東RCの小林会長、遠藤社会 奉仕委員長、ようこそ南クラブへ! G. 馬場さんは、私の中学校と高校 の先輩です。

崎 君

原田様、卓話楽しみにしております。

名古屋君 原田さん、

卓話よろしくお願いいたします!

ジャイアント馬場さんの 名誉市民の 馬場君

運動は市民運動の快挙でした。 心から感謝申し上げます。

渡邊(光)君、銅冶君、坪井君、田代君

佐藤(秀)君、坂井君

BOXに協力いたします。

鈴木(圀)君 本日 卓話の原田様、ご苦労様です。

会員皆様のご協力 ありがとうござい

ます。

卓話「経済と地域社会の発展月間」

「ジャイアント馬場を名誉市民に! ~故郷の偉人をたたえることの意味~」

三条市の英雄・世界の ジャイアント馬場を名誉市民にする会 副会長 原 田 洋 一 様





1:挨拶

この度、お招きにあずかりました「三条の英雄・世界のジャイアント馬場を名誉市民にする会」で副会長を務めております、原田洋一と申します。三条エコノミークラブや三条商工会議所青年部などに所属しており、普段は皆様と同じようにお話を聞く事が多い立場でありますが、今回はお話をさせていただく立場としてお招きいただきました。全く不慣れなことですので、お聞き苦しい点が多々あろうかと思いますが、お付き合いをいただきたく存じます。

2:ジャイアント馬場さん略歴紹介

三条実業高校の後継校は現在、三条商業高校と県央工業高校に分かれていますが、馬場さんが入学したのは機械科ですので、系統としては県央工業高校に属します。ですが、学び舎は現在の三条商業高校の敷地にありました。後年、凱旋興業と銘打って三条商業高校のグラウンドでアジアタッグ選手権試合を開催し、故郷に錦を飾ることができたと馬場さん自身が回顧しております。

生涯現役を宣言し、1999年1月31日にご逝去されました。それから17年後の今年の9月5日に三条市議会にて三条市名誉市民に認定することを全会一致で可決・成立いたしました。

3: 水野久美さんとのパレード時と思われる記念写真



これは昨年、私が栄商工会青年部長の時に、周辺の商工会青年部との合同研修会で國定勇人三条市長を講師にお招きして講演をした際に資料の一部として挟まっていたものです。すぐに市役所や市長にこの写真はどこから入手されたものか聞きましたが全く分からず、現時点においても不明です。市長の説明によると東京三条会との交流会で使った資料をそのまま使ったとのことで、この資料を作成した市役所職員も記憶にないとのことです。どなたかわかる方がいらっしゃればご一報ください。ヒントになるかどうかわかりませんが、馬場さんの同級生だった前市長の高橋一夫・高儀会長にそっくりな方が右下に写っています。もしすると高橋会長がお持ちになっていた写真かもしれ

ません。撮影したのは写真館を経営されていた水野久美さんのお父様だと思われます。

4:活動を始めた理由

馬場さんの試合を観戦したことがある世代は30代後半くらいがおそらく最後の世代となると思います。それより若い世代になるにつれ馬場さんの記憶が薄れ、今では全く知らないという人もいるでしょう。三条市においても例外ではなく、このままでは故郷の偉人の記憶が失われてしまう。故郷・三条市が語り継いでいくことは責務であると考え、活動を始めました。

5:活動を始めるきっかけ

元々、三条市内でプロレスファンが集まってお酒や食事をしながら昔のプロレスの映像を見て楽しむ「三条 PWF」という会があります。鋼材販売の(株)ナカジョウ社長・中條耕太郎さんが会長を務めております。この会の中でプロレス談義をしながらいつも「馬場さんを名誉市民にすることはできないか?」という話をしていました。

そんな中、現在も続いている「燕三条まちあるき」というイベントでコースを一つ設けてほしいという話があり、平成 23 年 10月 16日に三条 PWF メンバーがガイドとなって「三条プロレスファンと歩く〜馬場正平さんの足跡を訪ねて」を開催しました。西四日町の生家や遊び場だった日吉神社、通った四日町小学校を回りました。ケンオードットコムさんに今も当時の記事が掲載されているのでご紹介いたします。この中でも馬場さんを名誉市民にすることの話が出てきました。

6:全てのタイミングが奇跡のように重なった

活動を始めるには様々なハードルをクリアしなくてはならなかったのですが、一気呵成に進んだのが昨年でした。まず、活動を支えるコアメンバーがまちあるきイベントを通じて固まりました。

| 1 | 2-0.00 (1/19/20-10-10-10) | 1/19/20-10-10-10-10| | 1/19/20-10-10-10| | 1/19/20-10-10-10| | 1/19/20-10-10-10| | 1/19/20-10-10-10| | 1/19/20-10-10-10| | 1/19/20-10-10-10| | 1/19/20-10-10-10| | 1/19/20-10-10-10| | 1/19/20-10-10-10| | 1/19/20-10-10-10| | 1/19/20-10-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| | 1/19/20-10| |

まちあるきの様子 1

そして最も重要な馬場元子夫人の了解を得られたのが昨年でした。昨年の1月に東京の後楽園ホールにて「17回忌記念興行」が開催され、興行の後にパーティーが開催されました。今はすでに解散してしまいましたが、全日本プロレスの三条市での興行をサポートする「全日本サポーターズクラブ」という組織があり、その代表者がパーティーに招かれました。さらにこのパーティーの場に初めて「三条市長」の名前で花束を出すことができま

した。このことがきっかけで元子夫人から活動への了解を内諾いただき、後日 全日本プロレスの秋山潤社長を通じて正式に了解を得ることができました。

全く同時期に、馬場研究本ともいえる著書が2冊発刊されました。元文芸春 秋社で週刊文春やNumber の記者であった柳澤健さんが書いた、プロレス時代 に焦点を絞った「1964年のジャイアント馬場」。そしてこの本に興味をひかれ た野球研究家の広尾晃さんが書いた、三条時代と巨人時代に焦点を当てた「巨人軍の巨人 馬場正平」の2冊です。特に広尾先生は三条にも何度も来られて 取材を重ねており、三条時代については詳細を極めた内容となっております。 ご興味のある方はぜひこの2冊をお読みください。



7: 名誉市民にする会 発足

これらのタイミングが全て重なり、「三条の英雄・世界のジャイアント馬場を名誉市民にする会」を発足いたしました。会長は東京でミュージシャン・ボイストレーナーをしており、秋山社長とお付き合いのある川上真樹さんに就任していただきました。三条 PWF 会長の中條さんと私が副会長に就き、三条 PWF のメンバーから融資という形でサポートについていただきました。

8:本格的な署名活動を開始

昨年の 10 月のマルシェで試しに署名を集めてみたところ 500 名の署名が集まりました。そして年明けの 1 月から会議を重ね、4 月から本格スタートを切りました。公式サイトを立ち上げ、Change.org をプラットフォームにした電子署名サイトも併設しました。また、スーパーあいでん様からもご協力をいただき、各店舗で署名コーナーを常設していただきました。そして三条マルシェや三条ものづくり学校、市民球場での試合の時などにブースを出して署名活動を開始しました。

9:メディアによる反響

まず、4月4日付で三條新聞さんが1面で大々的に取り上げてくれた後に他のメディアからも取材依頼が来るようになり、その輪は徐々に広がりを見せ、全国紙にも記事が載るようになりました。

10: 著名人からの賛同

また、たくさんの著名人の皆様からもご賛同をいただきました。巨人軍時代にチームメートだった王 貞治さんや國松彰さん、先ほどの写真に一緒に写っていた同郷の水野久美さん(水野さんは小中学校時

メディアによる反響

平成28年4月4日付 三條新聞



代の馬場さんの先輩でもあります)、タレント関係では B'z の稲葉さんや川中美幸さんなどから頂戴しました。 もちろんプロレスラーからもたくさんいただきました。プロレスラー出身で前の文部科学大臣の馳浩さん、全日本プロレスの秋山社長、渕正信選手、馬場さんの弟子だった小橋建太さん等々、ご紹介しきれないほどたくさんの方からご賛同をいただきました。

11:三条市名誉市民に認定へ

4月から始めた署名が1万名を超えた8月5日、三条市長に署名簿と請願書を提出いたしました。この際、市長からは非常に前向きなお話をいただき、8月下旬に三条市議会の文部委員会で上程。9月5日の三条市議会にて全会一致での可決を迎えました。

12: 名誉市民 授与式

名誉市民 授与式

平成28年10月15日 授与式



10月15日、元子夫人より三条までおいでいただき、三条市役所市長室にて授与式が執り行われました。私たちメンバーは外で待っていたのですが、授与式を終えられた元子夫人より声をかけていただき、感無量の念でいっぱいでした。最初夫人は「多分、馬場さんも喜んでいると思います」とおっしゃいましたが、すぐに言い直され、「「多分」じゃないですね。きっと喜んでいます」とおっしゃっていただいた時には涙を流すメンバーもいました。

同日に栄体育館で開催された全日本プロレスの興行でも「ジャイアント馬場名誉市民記念試合」と銘打たれた特別試合の前に、市長も同席したセレモニーが開かれました。会場からは熱い馬場コールが起きました。

13: 名誉市民と地域貢献

今回の活動を通じ、馬場さんを名誉市民にすることがいかに三条市の為になっていくかということを痛感しています。馬場さんは三条市出身の著名人の中でも抜群の知名度を誇りますので、この名誉市民活動については全国 4 大紙の全てに記事が掲載されました。それだけ全国の注目を三条市に集められることを実感しました。

また、今回の請願の中で三条市出身の初のプロスポーツ選手であることを理由の一つとして挙げました。これは今後、スポーツを通じた地域貢献の一つの在り方を示すことができたと思います。現在、三条市出身のプロスポーツ選手として活躍されている方が何名かいらっしゃいます。例えば、プロサッカー選手の酒井高徳選手。日本代表としてワールドカップにも出場した酒井選手をこうした形で故郷が顕彰すると、酒井選手自身も三条市に対する意識を改めて強くすることができると思います。また、スポーツの世界を目指す子供たちの目標にもなると思います。

また、「まだなっていなかったのか?」や「今頃やるのか?」という声も多くいただきました。正直な話、それを一番感じていたのは我々自身なのですが、それだけ市民の注目がそれていたことの証左でもあるのかと思います。今後はそういった視線を外さないようにしていくことが肝要と思います。名誉市民は最高の地域貢献の形の一つです。

14:終わりに

署名総数は 12,000 名を超えました。 改めてご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。 ありがとうございました。

ROTARY NEWS



3歳でポリオに感染した自身の生い立ちについて語る米国 パラリンピック選手、デニス・オグべさん。 2016年10月24日にアトランタの米国疾病対策センタ ー(CDC)で開かれた「世界ポリオデー」イベントにて。 写真提供 Rotary International/Alyce Henson

ロータリーの「世界ポリオデー」イベント ポリオ撲滅のメッセージを全世界に発信

「世界ポリオデー」にあたる 10月24日、アトランタにある米国疾病対策センター(CDC)本部でロータリーとCDC主催による特別イベントが開かれ、世界の保健専門家と著名人が出席しました。『タイム』誌の総合監修者、ジェフリー・クルーガー氏が司会を務め、200人以上が出席したこのイベントは、ライブ動画で全世界に配信されました。

ポリオ撲滅活動の進展を報告

今年8月、ポリオ症例ゼロを2年間維持したかと思われたナイジェリアで新たなポリオ発症が確認され、ロータリーをはじめポリオ撲滅に取り組んできた諸団体にとっては大

きな打撃となりました。これらの症例は、最近までボコハラムの支配下にあったナイジェリア北部のボルノ州から報告されたものです。世界保健機関(WHO)は、この地域に5年間、ウイルスが存在していたと見ていますが、世界的にはポリオ症例数は確実に減っています。

クルーガー氏との対談Q&Aで、CDC 所長のトム・フリーデン氏がポリオ撲滅の進展について語りました。「現在、ポリオ症例数も、発症者が出ている地域の数も、歴史上最も少なくなっている」とフリーデン氏。全世界の症例数は、今年わずか27件。昨年同時期での数は51件でした。

ナイジェリアでの新たな症例を受け、ロータリーとパートナー団体は、ナイジェリア政府、チャド、カメルーン、 中央アフリカ共和国と協力してさらに活動を強化。経口ワクチンと不活化ワクチンの両方を使って約 100 万人の 子どもへの予防接種キャンペーンを緊急に実施しました。

「新たな症例が確認されたのは、サーベイランス(監視活動)が継続して行われていることの証拠」とフリードマ ン氏は話します。「さらに症例が確認されたとしても、それは驚くことではありません。 監視が行き届いていれば、 それだけポリオ症例の発見につながるからです」

アフガニスタンとパキスタンでは撲滅活動が引き続き成果を挙げています。アフガニスタンでは 2016 年現時 点までの症例数を昨年と比べると 13 件から 8 件に減少、パキスタンでも 38 件から 15 件に減少しています。

フリーデン氏は、過去に予防接種が行き届いていなかった子どもたちにワクチンを投与するパキスタンでの画期 的な取り組みにも触れました。これには、国境や州境、大都市への境界付近でのワクチン投与所の設置や、ワクチ ン投与者チームに携帯電話を提供してデータを迅速に保健センターに送信するロータリーの活動も含まれています。 「ウイルスを囲って封じ込めていかなければならない」とフリーデン氏は加えます。

著名人も応援

パラリンピック選手であるポリオサバイバー、デニス・オグベさんもイベントに出席し、自身の生い立ちについ て語りました。3 歳のとき、ナイジェリアの自宅近くにあったクリニックでマラリアの治療を受けていたとき、ポ リオに感染しました。2000年のシドニーと2012年のロンドンのパラリンピックに出場したオグべさんですが、 自身が体験する最も難しいチャレンジは「世界からポリオをなくすこと」だと話しました。

トーク番組「What's Trending」の司会者、シーラ・ラザーさんもイベントに参加し、世界中の人びとが投稿し たソーシャルメディアの内容を紹介。 さらに、世界中で 3,000 以上の「世界ポリオデー」 イベントが行われている ことも伝えました。パキスタンのコート・ディジの遺跡では、大きな「End Polio Now」のメッセージがイルミネ ーションで投影されました。

著作家・ジャーナリストであるマリン・マッケナさんと、同じくジャーナリスト・著作家のジェナ・ブッシュ・ ヘイガーさん(ブッシュ元大統領の次女)もビデオ出演しました。

さらに今回、ロータリーがユニセフの支援を受けて制作したバーチャルリアリティー映像が初公開されました。イ ンドとケニアの街中にいるような感覚が得られるこの映像は、ポリオサバイバーの体験をリアルに伝えています。 ユニセフのポリオ撲滅担当ディレクター、レザ・ホサイニさんはこう話します。「これは、ポリオによって人生が 大きく変わった人びとの様子を伝える優れた技術です。...ポリオ撲滅活動がどこでどのような人びとを救っている のかを、実際に見てもらうことが大切なのです」

この日、フリーデン氏と国際ロータリーのジョン F. ジャーム会長は、ポリオ撲滅活動への多額の寄付を発表。 さらに、カナダ政府が 1000 万ドルの寄付を約束し、元ニューヨーク市長で事業家・慈善家であるマイケル・ブル ームバーグ氏も 2500 万ドルを寄付しました。

ロータリーは、1979年にポリオ予防接種活動を開始して以来、ポリオ撲滅に16億ドル以上を寄付しています。 イベントの最後に、ジャーム会長はこう語りました。「私たちはこの取り組みを 30 年以上前に始めました。…以 来ずっと、あきらめずに全力を注いできました。そして今、この活動を成し遂げる日が近づいています」

記事: Ryan Hyland Rotary News 24-Oct-2016

創立 50 周年に向け、歴代会長を主要目標(テーマ)やエピソード とともご紹介する新コーナーです。

ひこばえ HISTORY OF SANJO SOUTH RC 薬とは、樹木の切り株や根元か 青柳 澄雄

第十三代会長

1980~81 年度

RI 会長 Rolf J. Klarich ロルフ J. クラリッヒ(フィンランド) 「Take Time to Serve 時間を捧げよう奉仕のために」

ガバナー 太田 丈夫(高田東)「叡智と奉仕を積みかさねよう!」

1968年6月3日入会 職業分類:建築設計 勤務先:

(有)青柳建築設計事務所 社 長

会長主要目標

1980 年代に入り、三条南クラブも 13 才を数える年になりました。創立 75 周 年記念行事も一段落しましたが、今年から 100 周年に向かって、新たな心がまえで 参りましょう。

本年度、国際ロータリー会長のメッセージは「時間を捧げよう、奉仕のために」で あります。各自それぞれに良く理解し、地域の特異性を活かした、楽しいクラブ作り に努めようではありませんか。

あなたも、私も、お互いに手に手をつないで。

三条南ロータリークラブ週報

2016.10.24 No.2217 No.12